

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	公園緑地	コード	作成者	役職	都市整備課長
		01-01-07		氏名	平田惣己治
			電話	64-1833	
			このシート作成に要した時間	2.5 時間	

**この施策のアピールポイント**  
 総合運動公園では、日本陸連公認の多目的競技場や西日本最大級のコート数を有するテニスセンターなど充実した設備を保有しており、市民のスポーツ振興に貢献している。

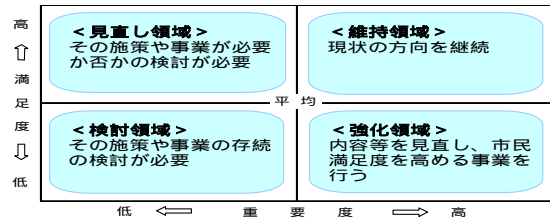
**この施策の平成24年度の施政方針**

< 備前市総合計画の内容から記載する >

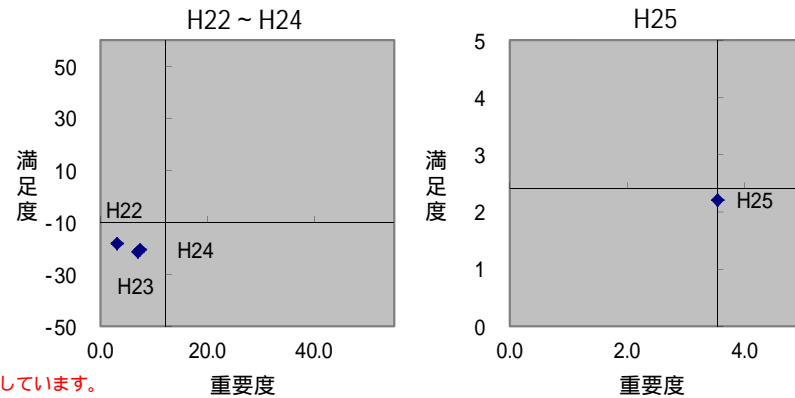
<b>政策の体系</b>	基本目標(大項目)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	生活しやすいまちづくり
<b>対象と目的</b> (誰のために、何のために)	市民のふれあいや健康増進の場、癒しの空間、レクリエーションの場であるとともに、防災、避難、都市景観などの多目的を有する。	
<b>現況と課題</b> (総合計画から現在の問題点を抽出)	現在開設されている都市公園は6箇所(25.7ha)で、市民一人当たり面積(6.13㎡)は、法による整備基準(10㎡)を大幅に下回っている。児童公園、地区公園などのその他の公園もあるが、公園用地の確保の問題などから身近な公園や緑地が不足している。今後は、瀬戸内海に臨んだ海と緑、良好な気候などの自然環境の保全とともに「備前市緑の基本計画」を策定し、公園緑地の配置を検討する必要がある。	
<b>施策展開</b> (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な公園緑地の整備を市民、企業、行政の連携協力のもと検討していく。</li> <li>地域の活性化に必要な宅地開発との十分な調整を図り、豊かな自然に包まれた癒しの空間の創出に努める。公園緑地の配置については、少子高齢化や余暇活動の変化、遊びの変化などを考慮し、市民が日常的なレクリエーション活動を行える場としてだけでなく、災害に強いまちづくりを行うための避難場所を兼ねた公園として配置していくよう「備前市緑の基本計画」を策定し、検討していく。</li> <li>スポーツ利用を主体とした公園は施設の利用促進や充実に努める。</li> </ul>	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H22	H23	H24	H25
重要度(%)	3.1	7.0	7.4	3.5
満足度(%)	-18.1	-21.3	-20.4	2.2



横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、それぞれの平均値を交点としてグラフ化しています。



H25から数値の採取方法を変更したため、別グラフで表示しています。

**調査結果に対するコメント、市民の反応等**  
 調査対象でない施策は、市民の反応等  
 総合運動公園等の大規模公園は整備しているが、市民に密着した身近な小規模公園・緑地の整備が充足されていないことから満足度の数値が低いものと思われる。

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H22	H23	H24			H25	H28
市民1人当たり都市公園面積	目標	%	7.0	7.0	7.0	10㎡法基準 都市公園面積/都市計画区域内人口	H25	7.0
	実績	%	6.1	6.1	6.1		H28	7.0
	達成率	%	87.1	87.1	87.1		-	-
	ベンチマーク						-	-
公園内での事故発生件数	目標	件	0.0	0.0	0.0	事故件数が常に0となるよう施設の管理に努める。	H25	0.0
	実績	件	0.0	0.0	1.0		H28	0.0
	達成率	%	100.0	100.0	0.0		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標	目標						H25	
	実績						H28	
	達成率	%					-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標	目標						H25	
	実績						H28	
	達成率	%					-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
こども課等	公園施設点検業務の一括発注	全ての公園について、点検業務を一括発注することにより、コストの縮減が図れる。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断	理由(なぜ、そのランクと評価したのか)
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	公園施設の整備状況と維持管理を表す指標として妥当。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	概ね適当。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	老朽化しつつある施設の維持管理により現有施設の充実と適正管理を図っていくとともに防災機能を持った公園施設の整備を検討していく。	
進行年度(H25年度)の取組内容(課題解決状況)		公園施設長寿命化計画の策定に取り組みとともに防災公園の整備を検討していく。	
翌年度(H26年度)の取組目標		長寿命化計画に基づき修繕を計画的に実施していくとともに防災公園の整備に取り組んでいく。	
二次評価者コメント		市民のスポーツ、憩いの場としての拠点であり、総合運動公園を中心に各公園緑地の適正な維持管理、活用に努めて下さい。特に小規模公園における老朽施設の点検管理を十分行い、事故防止には万全を期してください。また今後は防災機能を持った公園の整備が必要となります。検討していきましょう。	基本施策への貢献度
役職 産業部長 氏名 高橋 昌弘			3 中立

